

## ●指導計画

本校では、身近な学習環境である「ふるさと筒賀」の自然・歴史・文化・人等との出会いを大切に、豊かな体験を通して学ぶことで、学校教育目標の具現化をめざしている。その中で、道徳教育の要である道徳の時間は、子供達の考えを深める場として重要な学習として位置付けている。

また、特別活動は、実際の体験を通して道徳的価値について「気づき・考え・実行する」場として重視している。更に、総合的な学習の時間は、道徳的価値と自分たちの生活とのつながりについて多面的・多角的に学びを深める時間となるよう単元の開発を行っている。

### ■道徳の時間の計画

道徳の時間の年間指導計画は、各時間の「ねらい」や「主題構成の理由」などと共に各教科等との関

連についても明示し、教科等との相関を図った横断的な学習が計画的に実施できるようにしている。

第3・4学年 道徳の時間の年間指導計画							
【目標】							
○自分でやろうと決めたことは粘り強くやりとげる。							
○自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にす。							
○郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。							
月	主題名	資料名(出典)	ねらい	主題構成の理由	展開の概要及び指導の方法	関連する教育活動等	その他
1	1-(1)よく考えて節度ある生活を	「あつしの計画ひょう」(どうとく東京書籍)	時間を大切にして、計画的に過ごすことにより、節度ある生活をしようとする態度を養う。	自立した生活ができるように、時間を有効に使うことができる。	○お姉さんの話を聞いたとき、あつしはどんなことを思ったのか。 ◎あつしは、どんな気持ちから計画表をつくってみようと思ったのか。 ○お母さんに計画表を見せにいくときのあつしの心の中は、どんなだったか。	学級活動	わたしたちの道徳 p.10-11
4	2-(2)思いやり、親切	「心と心のあく手」(わたしたちの道徳)	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする態度を養う。	思いやりとは、相手の状況や心情を理解するなどして相手の立場に立って考えることが大切であることを学ぶことができる。	○数日後、再び一生懸命本を繋いでいるおばあさんに出会う場面で、自分だったらどうするか、なぜそうするか。 ◎ぼくはどのような思いから、おばあさんの後について行ったのか。	龍頭荘結成式	わたしたちの道徳 p.66-69
1	1-(4)正直に明るい心で	「ぬれた本」(どうとく東京書籍)	正直に真心を持って行動し、明るく生活しようとする心情を育てる。	正直であり、真心をもって相手に対するからこそ、明るい生活ができることを感じることができる。	○リンカーンはどんな気持ちで本を借りたのか。 ○雨でびしょ濡れになった本を見て、リンカーンはどんな気持ちになったか。 ○本の持ち主は、どんな考えでリンカーンに本をくれたのか。	運動会	わたしたちの道徳 p.40-41



地域のゲストティーチャーに学ぶ  
(遠足の登山ガイド)

### ■特別活動と「総合」の関連整理

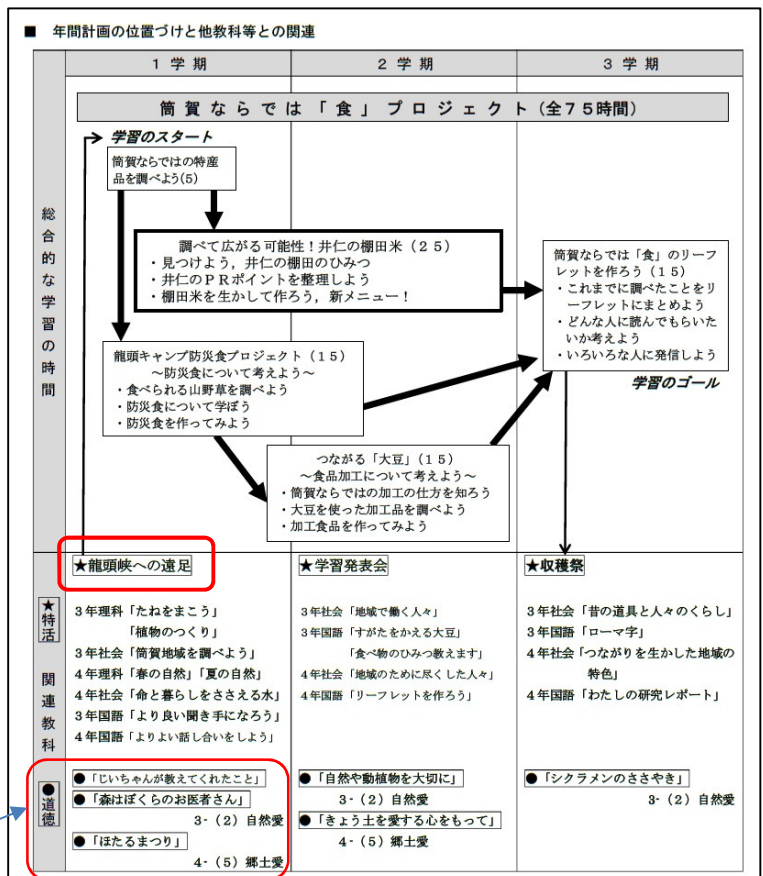
本年度の重点内容項目「勤勉・粘り強さ」「自然愛」「郷土愛」についての学びをより効果的なものとするため、春の遠足(上殿小と合同)場所を校区にある「龍頭峡」とし、全学年で展開する“龍頭学習”への導入とした。

全学年共に、ふるさとの大自然に足を踏み入れ、豊かな自然の美しさや木々の息吹の神秘さなどを体感した。

このような全校での体験の場を年間を通じて設定し、学びをスパイラルにつなぐよう工夫している。

なお、本年度は、道徳性の涵養と主体的な学びの充実を図るため、教科横断的視点から「総合的な学習の時間 年間指導計画」の見直しに取りかかっているところである。

森はぼくらのお医者さん【3-(2)】:3・4年



総合的な学習の時間年間指導計画(3・4年:一部抜粋)